

DRと16列CTで医療体制を強化

患者さんとの対話を重視し、診断に生かす院長は、最先端の医療技術で地域住民の健康を守る医療サービスの提供に努めている。腎・泌尿器科専門の治療のほか、高血圧症など軽度の内科診療にも対応し、患者本位の医療を提供している。

昨年、レントゲンをDR（デジタルラジオグラフィ）化、16列CTも更新。DRはフィルムレスで撮影後、即座に画像確認が可能で拡大縮小もでき、従来よりもスピーディーで正確な診断に役立っている。また、透析患者の体力維持、強化に役立つ運動器具のパワー

レートも導入したほか、スマホ用ホームページも作成し、新規予約もしやすくした。

腎機能が低下した糖尿病や慢性腎臓病の患者さんが将来、人工透析にならないような保存期治療を施行中だ。「早めに血圧をコントロールすることで腎機能を維持できる。腎機能が低下し血圧が高めの方は早めの受診をお奨めします」と話した。尿失禁患者に効果的な干渉低周波治療器治療や前立腺がんの早期発見に繋がる血液検査の「PSA（前立腺特異抗原）検査」や組織を採取する生検も行う。



16列CTを更新し、より充実した医療サービスを提供



院長 豊田 健一

1984年北海道大学医学部卒。同大学付属病院泌尿器科、国立札幌病院、苫小牧市立病院などを経て2006年に開業。日本泌尿器科学会専門医、評議員。日本性感染症学会認定医、日本腎臓学会会員、日本透析医学会専門医。インフォエクション・コントロール・ドクター。日本医師会認定産業医。医学博士。

とよた腎泌尿器科クリニック

☎(0144)31-2000

苫小牧市元中野町2丁目17番12号

ホームページ <http://www.toyota-hp.jp/>

診療時間／
月・火・水・金／9:00～12:00 14:00～18:00
木・土／9:00～12:00
休診日／日・祝日



泌尿器科・内科

日曜診療や最新機器を導入の眼科診療所

2014年8月、市内の一大商業圏として発展する明野地区の国道36号沿いに開業した。院長は緑内障が専門で、日本緑内障学会に所属し論文発表なども行っている。

近年は高齢化に伴い、中途失明原因疾患の患者数では緑内障が糖尿病網膜症による失明を超え、若い人に増えている。健診などを通じた早期発見が重要で、定期的な通院と併せ、緑内障は主に点眼治療の継続、糖尿病網膜症は適切なタイミングでのレーザー治療を行う。日曜日は終日診療とし、仕事のある人や通学の児童

生徒も受診できるよう利便性の向上を図った。

設備では、網膜や視神経の形態を解析する最新の「3D OCT（3次元眼底画像撮影装置）」を導入。病状の進行度合いなどを的確に判断し、治療はもちろん説明に役立っている。ほかに手術室や休憩室を完備。明るい待合室は子育て世代も安心のキッズコーナーを用意した。院長は「まちの診療所として、子どもからお年寄りまで幅広い患者さんたちの気持ちに寄り添い、よく見られる疾患から難症例も含め治療できる態勢を整えています」と話している。



天井が高く採光設計の明るい待合室



院長 中村 聡

札幌医科大学医学部を卒業後、札幌医科大学眼科学教室に入局。市立札幌病院眼科勤務、伊達赤十字病院眼科医長、札幌医科大学眼科、苫小牧市立病院眼科医長を経て、平成26年8月明野眼科クリニックを開業。日本眼科学会専門医、日本緑内障学会、日本糖尿病眼学会に所属。

明野眼科クリニック

☎(0144)61-1162

苫小牧市明野新町2丁目1番16号

ホームページ <http://akenoganka.com/>

受付時間／
月・火・木・日／9:00～12:30 13:30～17:00
土／9:00～12:30
水／手術日
休診日／金曜・第2・4土曜・祝日



眼科